



発行者 斎藤勝則
編集者 丸山郡次
関谷昌樹
渡辺次夫

2025年 新年度に向けて

会長 斎藤勝則

夏本番前の暑さに今年の夏はどうなるのだろうと不安になります。皆さん、暑さに負けずお元氣にお過ごしでしょうか。

8月から2025年度がスタートします。例年通り9月に通常総会を開催し前年度の活動と会計収支を報告しご意見を頂きます。そして、2025年度の活動計画と予算を説明・提案致します。

多くの皆さんにご参加頂き、活動内容・行事や予算の配分などを



ご確認ください。そして、ご意見・ご提案やご要望を頂き審議します。その結果を新年度計画に盛り込み反映させ推進していきます。

また、会の基本理念であるOBの皆さんの拠り所となる活動も継続します。皆さんの生活の参考になる情報発信、お困り事やご相談に協力できる体制を整えていきます。総会日程が決まり次第お知らせしますので都合を合わせ多くの方のご参加をお願い致します。

米国大統領による関税問題、ロシアのウクライナ侵攻長期化、中東エリアの紛争など私たちの生活に影響を及ぼす出来事があります。国内では、私たちの主食であるお米問題、物価高、水道管の老朽化、参議院選挙結果の政局動向など不安

や心配は尽きません。難しいことですが、多くの情報の中から必要な情報を得て何が必要で何すべきか対応して行きましょう。

皆さん、いよいよ夏本番を迎えます。無理し過ぎることなく元氣に今夏を乗り切ってください。そして、今後ともOB会活動へご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

花(桜)巡り

副会長 丸山郡次

コロナでの引籠り生活から漸く解放され、春の桜を見て廻るのを再開できる様になった。子供達が未だ小さい頃、地域の子供会の遠足で、マイクロバスに同乗し福島市に花見に行った。これが花見山と知ったのは、ずっと後の事。桜の木は、未だ頂上に少しある程度。木々の間から福島市街がよく見えた。それから桜の木を増やされ、有名な写真家の特集でブレイク。周辺の

家や道路も美しく整えられたが、今や大盛況で、五時迄は許可証がないとこの区域に車は入れられない。規制が解放される五時から近くに車を止め、日没迄花見を楽しむのが我家流。トーカイ桜は可愛い。

三春の滝桜は、遠いので花見山の様に毎年ではないが、何度も花見に行っている。ここもブレイクする前は、花見山同様近くに駐車ができ背後の高台のベンチで滝桜を見下ろし乍ら弁当を食べた。高台の後側には見晴らしのいい景色が見えた。今は滝桜の周辺は観光客の為に整備され、食事やお土産を貰える。滝桜も以前にも増して美しく、昨年から夜桜も見えている。専門家が設計したのだから色が最高に美しく見える色温度のLEDの照明で、この世のものと思えぬ鮮やかさ(大袈裟か!)。高速道のICが近くにできた御蔭や、それにオーバーツ



リズムも重なり、鬼に角外国人が多い。桜を背景に、自国語で自撮りする大勢の人が居る。

今年は、久し振りに、富岡町「夜の森の桜並木」にも行った。手入れたされたソメイヨシノは、透き通るような白い花卉が黒っぽい幹に對比し何とも言えない美しさを感じる。この先も、これらの美しい桜を見続けられるよう願う。



総会開催案内

日時 9月7日(日)
場所 保原中央交流館
時間 午前11時
是非、ご参加ください

独断偏言

誰しも使う故郷の言葉、方言。私の故郷では「せ」を「しえ」と発する方言がある。千円は「しえんえん」、先輩は「しえんばい」、先生は「しえんしえい」である。卒業式など町長の祝辞も「しえんしえい」の御恩に「と、下方言になる。あと「さん」を「しゃん」という言葉がある。それは目上に使う敬語に表れる。先輩も後輩も基本は名前前で呼びし先輩には当然敬語を使う。気易い先輩に使う敬語は「ちゃん」である。例えば「茂ちゃん」となる。しかし、一目置いて気安く呼ばない先輩には「しゃん」という敬語を使う。そう「茂しゃん」となるのである。この場合「しゃん」は最上級の敬語であるから面白い。昭和は遠くなり、令和の故郷の子供らは今も使っているのだろうか。